

ヒッポを始めて1年。我が家の夢

私たち家族(夫・8歳長女・2歳次女)がヒッポを始めて、ちょうど1年になります。きっかけは、もともと夫も私も旅好きだったこと。英語が話ができるようになればいいけど、それよりもっとその国々のことばで現地の人とコミュニケーションができればどんなに素敵だろう・・・「家族でいつか世界旅行に行きたい。」そんな想いを心の奥に漠然と持っていました。

そんなある日・・・たまたま長女のお友達に誘ってもらってヒッポファミリークラブの会に遊びに行きました。そこでは、みんながそれぞれ好きなことばで自己紹介をしたり、CDにあわせてことばをまねたり、いろんな国のことばが飛び交っていて、「わあ、すごい！これだ！！この感覚！！」と、自分の頭の中で「カランカラン♪」って、GOサインのときに鳴る「鐘の音」が鳴ったんです！夫も体験会でピンとくるものがあつたらしく、活動に参加することにしました。



それからは家ではバックミュージックにヒッポCDをかける日々。休日の移動の車の中でもヒッポCD。「家族みんなが、同じスタートラインから共通の体験を分かち合う」ということがものすごく新鮮で、あっという間に1年が楽しく過ぎていきました。この1年。たった1年なんですけど、すでにいろんな発見や体験をもらっています。

たとえば・・・つい最近、次女(2歳8ヶ月)が、スペイン語で自己紹介を自ら進んでやるようになりました！この1年で溜まっていた音が、今少しずつ娘の口からことばとして出るようになってます。長女は学校で、ボリビアから新しく赴任して来られた先生が教段に立ってあいさつされてる際に「あっ！スペイン語や！」ってすぐにわかったそうです。後日その先生に学校で出会った時には、自ら「オラー！！」って話しかけてスペイン語で自己紹介もして先生や周りにいた友達をあっと驚かせてしまった。と嬉しそうに話してくれました。ファミリーで常に大勢の中で話すことに慣れてきたせいか、長女は学校でも人前で話すことにあまり躊躇しなくなったそうです。

私はといえば、耳がだいぶ慣れてきて、最初よりも音がクリアに聞こえるようになってきました。この年齢になっても「耳が変わる」という変化にびっくり！全然興味のなかった国のことばも、ファミリーでほかの人が話しているのを聞いているうちに、勝手にだんだん覚えてきています。夫は、韓国ドラマを見ながら「わかることばがいっぱい出てきておもしろい」と言ってすっかりハマっている様子です。

この1年で、世界が今まで以上に近くに感じられるようになってきました。

そしてなにより家族の絆が一段と深まったことを実感しています。

～10年後家族で世界一周放浪の旅～「夢」が、「目標」に変わりました。(北区 30代主婦)